



活力と活気に満ちた、 豊かで、安心して 住み続けられるまち

1. 暮らしがいちばん 「力強い宜野湾の 経済政策の実現」

はじめに、「暮らしがいちばん力強い宜野湾の経済政策の実現」についてご紹介します。

経済に関連する基本政策につきましては、先にも触れましたが、今もなおオミクロン株による新型コロナウイルス感染症が続いている状況でございます。

これまで、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を頂きながら新型コロナウイルス感染症対策事業を行ってきたところでありますが、今後、同感染症で疲弊した経済の立て直しを図るため、AI（人工知能）や、RPA（システム）による業務を自動化し、ICTの活用により、非対面型ビジネスを奨励し、多少の外的要因が加わっても動じない柔軟な経済の仕組みづくりを支援していくとともに、地元優先発注による各種公共工事の実施、誰もが起業しやすい環境づくりを推進してまいります。

また、企業誘致等により、若者に働く場を創設し、市内就労人口を増加させ、企業等の正規雇用の促進を図り、市民所得を引き上げます。

商工会との連携による中小、小規模事業者への経営相談を実施し、販路拡大、製品開発等への支援を拡充し、産業支援センターの設置に取り組んでまいります。

10月4日(火)、第446回宜野湾市議会定例会の開会にあたり、松川正則市長が述べた所信表明の全文を掲載いたします。

※所信表明とは、市政を運営していく上での基本的な考え方や信念などを述べたものです。

議長のお許しを得て、議案の上程説明に先立ち、市長二期目就任のあいさつと、市政に対する私の所信の一端を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜わりたく存じます。

まず、はじめに、長引くコロナ禍において、市民の命と健康を守るため、日夜ご尽力をいただいております医療機関等関係者の皆様、エッセンシャルワーカーの皆様をはじめ、日頃より感染対策等にご協力いただいている飲食業・観光業などの事業者の皆様へ深く感謝を申し上げます。

そして、議員の皆様におかれましては、去る9月11日に行われた市議会議員選挙におきまして、多くの市民の皆様からの信託を受けられ、ご選ばれましたことに対し、心よりお祝いを申し上げます。

同時に行われました市長選挙におきまして、私も市民の負託を得て二期目の当選を果たし、第19代宜野湾市長として、引き続き、市政運営を担わせていただくことと

なりました。

市長選挙では、活力と活気に満ちた、豊かで、安心して住み続けられるまち、「やっぱり、宜野湾がいちばん」を掲げ、5つのビジョンとして、「暮らしがいちばん」をはじめ、「健康がいちばん」、「地域力がいちばん」、「基地のない平和がいちばん」、「夢のある明日がいちばん」を訴えてまいりました。その結果として、市民の皆さまのご支持とご理解のもと、市長という重責を引き続き務めさせていただきますこととなり、身の引き締まる思いです。

皆さまからの想いは、これまでの4年間の実績に対する評価と、これからの市政運営に対する様々な期待が込められているものと受け止め、その責任の重さと使命の大きさを実感しております。

私たちを取り巻く環境は、年々急速に変化しており、中長期的には、少子高齢化の更なる進展による人口減少や、それに伴う地域経済の縮小を克服し、将来にわたって成長し続ける仕組みづくりが求められています。気候変動や自然災害、新たな感染症といった地球規模の課題に対しても対応していく必要があります。また、近年のデジタル化の加速には、戸惑いを感じる方々も多くいらっしゃることは存じますが、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進・充実、IT技術を活用

2. 健康がいちばん 「市民の健康を 大切にするまちづくり」

続きまして、「健康がいちばん市民の健康を大切にするまちづくり」についてご紹介します。

はじめに健康分野でございます。西普大間住宅地区に関しましては、琉球大学医学部及び大学病院と連携し、国の先行モデルとして、沖縄健康医療拠点の形成を図るとともに、健康都市宣言にふさわしい市民の健康増進事業を展開します。

ワクチン接種の推進、無料PCR検査等を継続し、新型コロナウイルス感染症予防対策を充実・強化します。

引き続き、任意予防接種の無料化に取り組めます。高齢者の道迷い捜索のため、見守り自動販売機等を増設します。また、民間企業と連携し、一人暮らしの高齢者見守りのため、Wi-Fiセンサーの普及に取り組めます。

介護予防教室への送迎サービスとして、移動支援を継続して実施し、健康体操の普及、生きがいづくりの支援、デイサービスの充実強化等で高齢者のフレイル対策を強力に推進します。シルバークロスポート加盟店の増

加に取り組めます。また、環境分野におきましては、電気自動車への導入、太陽光発電設置補助制度の拡充、LED照明器具の普及、自動車メーカーとのタイアップによる水素燃料バスの実証実験等、脱炭素社会を目指し、カーボンゼロ政策を推進します。また、公共交通機関の水素燃料バスへの置き換えを働きかけてまいります。

PFOS等有機フッ素化合物を含む湧水群のうち、市民が水と触れ合う公園、せせらぎ等へ、除去装置を設置し、市民の不安解消に努めます。スポーツ分野におきましては、横浜DeNAベイスターズなどのスポーツキャンプ地としての取り組みを推進するとともに、また、来年開催されるFIBAワールドカップへの支援等、スポーツの振興を推進します。

引き続き、市、県代表派遣費補助の充実強化を図ります。スケートボード場等の建設を推進するため、現在、「いこいの市民パーク」内に設置してあるスケートボード場のほか普天間飛行場内の市民広場や、西普大間住宅地区、海浜公園等に同様の施設の建設に取り組んでまいります。